

桐生西ロータリークラブ週報



2014-15年度RIテーマ **ゲイリー C.K.ホアン RI会長**

LIGHT UP ROTARY **ロータリーに輝きを**

例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30
例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi

会長 向田 靖 広報活動委員長 新木明夫 広報活動委員 金子福松・岡田善孝・栗原秀一
幹事 横塚直人 クラブ会報・雑誌担当 鳥嶋隆一 羽鳥 隆 (歴史編集・IT・CICO担当)

No. 1966

2014年12月20日発行

第2088例会 (2014・12・12) 報告

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
3. 来訪者紹介
4. 出席100%表彰、誕生・結婚祝い
5. ライラ研修修了証授与
6. 会長報告
7. 会長エレクト報告

8. 幹事報告
9. 乾 杯
10. 食 事
11. 委員会報告
12. ロータリー情報アワー
13. ライラ研修報告 ナンタナー・プーイさん
14. 点 鐘

◆ピジター

桐生RC 前原 勝 君
ライラ研修生 (桐生西RAC) ナンタナー・プーイさん

◆出席100%表彰

〈15年〉
阿左美 博君



◆ライラ研修 修了証授与

ナンタナー・プーイさん
(レ・ミン・チー君と
スレーントーン・
プウビライさんは
授業の為欠席です)



◆会長報告

前原副会長

1. 先週の年次総会は皆様のご協力により無事終了し、ありがとうございました。この後、近藤会長エレクトから次年度理事会の報告があると思います。
2. 本例会が今年度最後の通常例会となりました。ロータリー財団、米山ボックスの寄付控除証明書は、本日の分まで対象になりますので、ご了承下さい。
3. 先週理事会を行い、その大きな報告事項は本日のクラブ会報に載っております。その中の会務分担変更についてですが、今年度たくさんの新会員さんをお迎えしてクラブ運営委員会が大所帯になりました。反対に若干手薄な委員会さんも見受けられますので、適正に変更することになりました。正式に決まり次第ご本人に確認の上ご報告致します。
4. 10日(水)、今年度の第2回ゴルフコンペとゴルフ部の忘年会が行われました。この後、江原ゴルフ部長よりご報告があるかと思っております。
5. 明日土曜日、地区茶の湯研修会が茶寮いませで11時から行われます。当クラブから、星野パスト会長、金子パスト会長、正田理事、近藤会長エレクト、七五三木会員の5名が参加されます。
6. 明後日の日曜日10時半から、希望の家クリスマス会にご招待頂きました。代表して霜村奉仕プロジェクト委員長と横塚幹事が出席させて頂きます。

◆誕生祝い



前原榮一君、七五三木正君、霜村年勇君、
斎藤政治君、正田恵一君

◆結婚祝い

近藤幸利君
天沼一夫君



《次例会予告》

1月9日(金) 新年初例会
点鐘 PM6:30、会場 うおせん

12月26日(金)と1月2日(金)は公式休会です。

から副幹事の指名があり、東郷学君が選任されたのでご報告致します。また各理事の担当委員会は下記の通りとなりました。

2015-16年度 各理事の担当委員会		(敬称略)
理事	奥村 勉	(会員組織委員会)
"	阿左美 博	(クラブ運営委員会)
"	小林 恵司	(奉仕プロジェクト委員会)
"	高森 勉	(広報活動委員会)
"	鳥嶋 隆一	(R財団・米山・ニコニコBOX委員会)

◆幹事報告

横塚幹事

- ◇次例会は20日(土)の忘年家族会です。
- ◇地区大会報告書を該当者に配布しました。
- ◇下記のものが届いております。
 - ・竹内G事務所から年末年始休暇のご案内(12/27~1/5)
 - ・群馬県自閉症協会から会報、講演会のご案内
 - ・比国育英会バギオ基金より事業報告書、寄付のお願い
 - ・佐野市民文化振興事業団より「わいわいギャラリー」のご案内
- ◇例会変更のお知らせ
 - 沼田中央RC 1/1(休)、1/8 富岡中央RC 12/18、12/25(休)、1/1(休)、1/15
 - 藤岡北RC 12/16、12/23(休)、12/30(休)、1/6(休)
 - 富岡ぶらRC 12/16、12/23(休)、12/30(休)、1/13
- ◇クラブ会報が到着しています
- 桐生中央RC 12/4 桐生赤城RC 12/2 桐生RC 12/8

◆乾 杯

阿左美直前会長



15年前の12月に入会しました。今でも記憶に新しいのは、入会前の11月26日に長女が2番目の子を出産し、同じ日にゴルフでホールインワンを出した事です。当時の会長は根本さんで、色々フォローして頂いてここまで来ました。ロータリーは非常に良い所だと思っています。それでは、末永く桐生西RCが繁栄する事を祈念し、また家族の協力と今年無事に過ごせた事に感謝して、そして迎える年も良い年であるよう願って、乾杯!!

◆食事メニュー

1310キロカロリー

チーズとトマトのサラダ、浅利とわかめのスープ、白飯、香の物、白身魚のきのこあんかけ、豚肉と辛子葱温製、リンゴのゼリー寄せ

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告

栗原(幸)出席担当

総数63名(免除者9名の内5名出席の為4名を除く)
出席率対象者59名、出席率対象者出席人数43名
欠席者16名(内前メイク6名) 出席率83.05%
前々例会修正出席率88.14% (最終欠席者7名)

□拠金委員会

◇ニコニコBOX

早川拠金委員

プーイさんを歓迎します 松原君
ナンタナーさんライラ研修報告宜しくお願ひします 横塚君、乾君
出席100%表彰を頂いて 阿左美君
出席100%表彰おめでとうございませう 福島君
誕生祝いを頂いて 七五三木君、前原君、霜村君
結婚祝いを頂いて 天沼君
明日は妻の誕生日です 阿部君
江原ゴルフ部長はじめゴルフ参加の皆さん大変お世話になりました 田崎君
ゴルフ部より田崎さん優勝おめでとうございませう 江原君
ゴルフ部の皆様、ゴルフコンペ&忘年会では大変お世話になりました 齋藤(学)君
松原さん、小林聡さん、今泉さん、齋藤学さん、お世話になりました 青山君
ペヤングソースやきそば安心して早く食べたーい 野田君
師走です。交通安全で行きませう 井本さん

体重が10kg減ってしまいました 栗原(秀)君
クリスマスケーキご協力ありがとうございました。目標達成させて頂きました 齋藤君
冬期賞与頂きました。ありがとうございました 事務局・清水さん

◇ロータリー財団

天沼R財団担当

プーイさんを歓迎します 松原君
ナンタナーさんライラ研修お疲れ様でした 前原君
ライラ研修報告ご苦労様です 霜村君
出席100%表彰おめでとうございませう 福島君
誕生祝いを頂いて 七五三木君
野村さん、ありがとうございました 江原君
江原さん。コンペ大変お世話になりました 中野君
お久しぶりです 田崎君
田崎先輩優勝おめでとうございませう 天沼君
田崎さんゴルフコンペ優勝おめでとう。今日は出席頂いてありがとうございます 家住君
天沼さん、ゴルフご迷惑をお掛けしました 青山君
天沼さんに言われて 乾君
青色LEDノーベル物理学賞受賞おめでとうございませう 野田君
師走です。交通安全で行きませう 井本さん
階段で滑って転んで全身打撲です 栗原(秀)君

◇米山BOX

七五三木米山奨学担当

プーイさんを歓迎します 松原君
星野パスト会長、宜しくお願ひします 前原君
星野さん、ロータリー情報ご苦労様です 乾君
星野さん、ありがとうございました 青山君
出席100%表彰おめでとうございませう 福島君
結婚祝いを頂いて 天沼君
向田会長さん、ありがとうございました 江原君
江原ゴルフ部長大変ご苦労様でした 中野君
お久しぶりに美酒に酔えまして 田崎君
ニュージーランドに行つて来ました 家住君
会員増強にご協力頂き誠にありがとうございます 野田君
師走です。交通安全で行きませう 井本さん
車をぶつけてしまいました 栗原(秀)君

◆ロータリー情報アワー

星野R情報担当



前は「ロータリーと女性」についてお話し致しました。今日は「ロータリーの奉仕」、奉仕の原点についてお話しさせて頂きます。

【ロータリーと奉仕】

桐生西ロータリークラブは、S46.11.12に世界で15,000番目というラッキーナンバークラブとして誕生し、創立メンバー31名で、奉仕の道への第一歩を踏み出した。以来、数多くの輝かしい実績を積み重ねて、今日(43年目)に至っている。

今、ロータリークラブにとって必要な事は、<新しい感覚を持った若い力、女性の力を蓄える>ということである。そうしなければロータリークラブは発展しないとされている。各クラブとも若い会員の充実、また女性会員の増強に力を入れている。

しかし、新しい若い力を蓄えるということは、ただ単に若い人を入会させることで解決するものではない。それではただ平均年齢を下げるという事にすぎない。必要なのは私達未完全なロータリアンがより一層努力して、ロータリー力を身に付けることである。

それには、「積極的にロータリーの理念を勉強し、またその歴史的背景と組織の機構を学ぶことが、まず第一歩である。そして、自己修練を経て各自が奉仕の概念をつかんで、実践へと移行する、これがロータリアンとしての力なのだ」と、先人は教えてくれている。ロータリーの理念をわきまえ、個人奉仕に徹し、そして団体奉仕へと進んでいくことは、私達がロータリーに入った時からの義務であったのか

も知れない。

ロータリーは変わりつつあるという。しかしロータリーの歴史は変化の中にあっただし、生々流転は世の常である。時々刻々変化する現実の中にこそ、ロータリー存在の意義があるのである。

ロータリーは歴史的に見て、個人奉仕から団体奉仕へとその輪を広げて進化してきている。しかし、このことはロータリーの目的が団体奉仕に移行したということではなく、その基盤はあくまでも個人奉仕にある。個人奉仕の研鑽なくして、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして青少年奉仕への発展はないのである。

ロータリーに入会すると、種々細かい習慣、行事等は教示して貰えたが、「奉仕」という抽象的なものに関しては中々わかり易く教えて戴けなかった。従って自分もよく理解できなかつた。失礼ながら教える方も教示できるほどに理解しておらず、おぼろげながら自信がある程度であったと思う。しかし中にはこれ等を確信を以って指導出来る、もはやロタキチ(ロータリー気狂い)に達する方々も存在していた。

「奉仕」の中でも「社会奉仕」等は文字通りであり理解し易いが、「職業奉仕」となると同じ奉仕の中でも最も理解し難いように受け取っていたのが、普通のロータリアンであったと思う。

特に新入会員には、何故「職業」という2字が付いているのか、奉仕に関係しない職業もあるのではないかと考えたのではないだろうか。ところが、この「職業奉仕」がロータリーの看板だというから、事が面倒である。あるパストガバナーの話を活用すると、ロータリーという家の玄関に当たるのが「職業奉仕」、家の両側の窓が「社会奉仕」と「国際奉仕」、裏の大事な勝手口が「青少年奉仕」、それこそ家の真中の居住部分は「クラブ奉仕」であるという。従って「職業奉仕」はロータリーの根幹をなすと言っても過言ではない。

確かに、他のクラブには見られない奉仕が、この「職業奉仕」なのである。社会奉仕、国際奉仕等は、ライオンズでも他の団体でも看板にしているし、実際の活動も華やかである。それに比較してロータリーの「職業奉仕」とは誠に理解し難い、何と説明したら良いか一言では表せないのもであるが、ロータリー独自のものであるのは皆様ご存知の通りである。とかく、ロータリアンの口に出す奉仕哲学は非常に立派であり論理的であり非の打ち所のない位だが、奉仕の実践となると果たしてこれで良いのだろうかと考えざるを得ないこともある。「ロータリーは寄付団体でない」と言いながら、その実今のロータリーはやはり寄付団体ではないだろうか。ロータリーの事業が慈善事業の一つになっていないと果たして言いきれるか。実際に世間がロータリーに期待するものもそこであって、RIにしても寄付の多寡を常に意識し、寄付を奨励し誇示しているのである。この様な寄付奨励策が肥大してくると、消防車を寄付すれば社会奉仕、財団に寄付すれば国際奉仕が済むということになる。

職業奉仕はその点に於いて、実践から考えるとむしろ比較的簡単に理解し易いことが多い。自らの職業を通して奉仕することが先ず第一の考え方であるが、職業奉仕事例集という本等があり、非常に多数例が載っている。この事例を読んで、職業奉仕とは如何なるものか理解した方が早いと思われる。或る偉い方の言葉によれば職業奉仕と社会奉仕はどこが違うかと云うと、職業奉仕は金儲けと奉仕が両立しなければならない。事業に失敗したら職業奉仕どころではない。但し、社会奉仕は金儲けとは全く関係ないものである。言葉は悪いが判り易く言えば、職業奉仕は金儲け(?)の方法であり、社会奉仕は金の使

い方(?)であると。

また「奉仕」は、言っても聞いても耳障りが良いし、しかも「奉仕」を与える方は、もらう方よりも恰好が良さそうである。昔は多分、世間の人々は「ロータリークラブ」とは奉仕団体であって、頼めば「お金」を出してくれると理解していたのではないだろうか。そんな時代もあったと思うのである。

我々もただ単に「お金」を出すだけならば、19世紀から20世紀にかけての「慈善」に他ならない。即ち、貴族階級が温かい身なりをして馬車に乗りポケットに入れてある銀貨を、寒さに震えている貧しい人に投げ与える様なことである。そこには言葉こそ慈善だが一方通行しか感じられず、真の「奉仕」は存在しない。ロータリークラブとはお金持ちの昼食会と評価され「お金」を出してくれる社長さん達の奉仕団体と見做されるのは、迷惑至極なのである。

「ロータリーの世界は自他共栄と善意であります。善意と言うものが無かつたら、職業奉仕は単なる金もうけに過ぎず、社会奉仕も単なる施しとなり、国際奉仕も外交辞令に過ぎません。」これは当地区PGで今は亡き前原勝樹氏の言葉であり、ロータリーの核心に触れた言葉である。善意というものは何物にも優るものであり、思いやりのある善意は更に素晴らしいものである。更に先生は著書で次に様に言っている。「ロータリークラブは奉仕する団体ではありません。奉仕する人々の集まりです」と。これはロータリーの理念を適確に表現している言葉である。ロータリアンの一部の間さえ、ロータリーは団体として奉仕する、即ち寄付団体と心得ている人もいないのではないか。これは大きな誤りである。奉仕する団体ではなく、奉仕を志し、これを実践しようとする人々の集まりである事を銘記すべきである。

ライラ研修報告



ナンタナー・プーイさん
(桐生西RAC・群大理工学部)

今回のライラ研修に参加させて頂いたのは、桐生西RACの乾副幹事さんと、米山奨学生のレ・ミン・チー君、桐生西RACのスレーントーン・プウビライさん、そして私ナンタナー・プーイの4名でした。レ・ミン・チー君とスレーントーン・プウビライさんは、授業のため本日は出席できませんので、私が代表して報告させていただきます。

ライラセミナーは今年で14回目で、高崎セントラルRACがホストクラブでした。10月11～12日の2日間、「自然に感謝して生きる」というテーマで、高崎市倉渕町にあるはまゆう山荘で行いました。

最初に、ご存知のかたもいらっしゃると思いますが、ライラ研修について改めて説明させていただきます。

ライラとは英語で rotary youth leadership awards の略語でロータリー青少年指導者育成プログラムです。1959年にオーストラリアで初めて実施されました。その後、1971年に国際ロータリーによって正式のプログラムになりました。ライラの目的は、青少年を対象とする集中研修プログラムで、スキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することです。

先ず、1日目は開校式を行いました。今回のセミナーは、片亀光講師の指導で行われました。講師は主に環境カウンセラーで、自然や環境などについて色々



導して下さいました。

始めに、太陽で調理してみようというテーマで、外で太陽熱を利用してご飯とパンケーキを調理しました。非常に好天気で良くできましたが、とてもまぶしくて辛かったです。ソーラークッカーという道具で太陽熱を集め、熱を逃がさない断熱袋を使用して飯盒でご飯を炊きました。パンケーキも同様です。時間が少し短かった為、ご飯はちょっと硬かったですが食べられました。



次は体育館で研修を行いました。そこでは地球と月と太陽の関係について学びました。直径30cmの地球儀では地球と月の距離はどの位か？また、地球と太陽の距離は何kmか？この様な問題に取り組みました。

3番目の研修は環境問題について講義を受けました。環境問題については地球温暖化とオゾン層破壊、廃棄物、水循環影響の三つがあります。地球温暖化とオゾン層破壊は地球規模で行われています。京都議定書の対象である二酸化炭素やメタンなどが、温暖化やオゾン層破壊の原因です。対策方法として、全体でガスの排出を少なくするためには自然エネルギーを使用することが必要です。生活廃棄物に関しては群馬県が4年連続ワースト1です。対策方法は身近な生ゴミを出さないようにすることです。水循環影響では集中豪雨や

スーパー台風など大きな被害を及ぼしています。原因は地球温暖化の結果です。対策方法は節約型社会のライフスタイル、雨水の利用などが必要です。

次に2日目の研修についてです。6グループにわかれ、ワークショップを行いました。仮に一週間、停電になった場合、必要な電気製品を5つ選ぶとしたら何を選ぶかをグループで話し合いました。私のグループでは、スマートフォンが一番、パソコン、炊飯ジャー、冷蔵庫、給湯器の順になりました。全体でもスマートフォンが一番必要度の高い結果になりました。また、水道が1週間断水したら、どう対策するかも話し合いました。多くの場合は川水や雨水などを使ったり、またお風呂の場合は温泉に行ったりすることが主に提案されました。今迄当たり前に使っていた電気や水などがいきなり使えなくなった時の事を、グループで真剣に話し合いました。

今回のライラ研修を通して、自分がどうすれば地球環境を守れるかを考えさせられ、ごみの分別、食べ物を残さない事など実行していこうと思いました。

最後に桐生西RACのメンバーで記念写真を撮っていたら、他の参加者も撮影に入って来たりと、研修生同士仲よく楽しく過ごすことが出来ました。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございます。



RI第2840地区 第28回 茶の湯研修会に参加

晩秋のやわらかい陽が射す、茶寮いま泉に於いて、12月13日(土)午前11時から午後1時まで、当地区の茶の湯研修会が開催された。

当日は、竹内正幸ガバナーをはじめ、茶の湯を愛するロータリアン約30名が参加して、楽しい一時を過ごすことが出来た。



始めに、地区茶の湯倶楽部代表世話人の森田均パストガバナーより、「茶の湯寸話」という題で講和があった。千利休の教えを中心に、和敬静寂、利休七則、茶にまつわる逸話に見る「茶の心」など、内容の濃い話を、絶妙な話術で参会者を魅了した。

次の茶席では、席主を森田均パストガバナー、お点前を館林東RCの阿部豊子会員が務められた。そして、世話人の前橋東RC近藤日出夫会員・前橋中央RC井上美子会員のお世話も加わり、和やかな雰囲気の中で、一服のお茶を頂き、楽しむことが出来た。

その後の昼食も、「いま泉」の心のこもった精進料理を美味しく戴き、ロータリアン同志の友情と親睦が深められた。

当クラブからは、星野幸男・正田恵一・近藤幸利・七五三木正・金子福松各会員の5名が参加した。(文責：金子)



向田年度第2回ゴルフコンペ開催

向田年度第2回ゴルフコンペが、12月10日(水)、晴天に恵まれて、桐生カントリークラブで開催されました。当日の参加者はゴルフ部員20名でした。

また、同日夜6時から、表彰式を兼ねてゴルフ部忘年会を、「うおせん」で行いました。

12日の例会の委員会報告の中でも、江原ゴルフ部長から上位入賞者の発表があり、優勝カップ授与式が行われました。

結果は下記の通りです。



優勝
田崎 武夫君

準優勝
栗原 幸三君

第3位
下井田秀一君

